

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010函第67号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年11月10日 04時30分ごろ	
発生場所	北海道室蘭市室蘭港 室蘭港南防波堤灯台から真方位109° 1,400m 付近 (概位 北緯42° 20.8' 東経140° 57.9')	
事故等調査の経過	平成22年11月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 油タンカー 北 ^{ほくしゅ} 珠丸、698トン 136656、中田海運株式会社 B 貨物船 ひので、499トン 132961、日本塩回送株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A、四級海技士（航海） B 船長B、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船尾外板、右舷船尾ブルワークに凹損及び擦過傷 B 左舷中央部外板に凹損及び擦過傷	
事故等の経過	A船は、室蘭港第2区において、船首約1.80m、船尾約3.10mの喫水をもって、右舷錨4節を投じて錨泊中、B船は、同区において、船首約2.90m、船尾約4.45mの喫水をもって、右舷錨3.5節を投じて錨泊中、A船が走錨して東方に約600m流され、平成22年11月10日04時30分ごろ、A船の右舷船尾部とB船の左舷中央部とが衝突した。 衝突後、A船及びB船はいずれも自航して着岸した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 西、風力 7（瞬間最大風速約24m/s）、視界良好 海象：波向 西、波高 約0.8m、潮汐 ほぼ低潮時 特記事項：暴風警報及び波浪注意報発表中	
その他の事項	船長Aは、11月9日23時30分ごろまで船橋で当直に就いていたが、その後、自室で待機しているうち、居眠りに陥った。 船長Bは、11月10日02時ごろまで守錨当直に就いていたが、その後、守錨当直者を配置しなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり A船は、室蘭港第2区で錨泊中、船長Aが、自室で待機中に居眠りに陥ったため、守錨当直を行っておらず、A船が走錨していることに気付かなかったものと考えられる。 B船は、室蘭港第2区で錨泊中、守錨当直を行

	っていないため、走錨して接近するA船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、室蘭港第2区において、A船及びB船が錨泊中、両船が守錨当直を行っていないため、A船がB船に向けて走錨していることに気付かず、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。